



現千葉県議会 副議長



岡村 やすあき

教育 1 学力向上

学ぶ力を育てる教育を推進するなかで、個性や独創性を伸ばす教育の実現に努めます。

**基礎学力の低下傾向と
進んで学ぶ力の必要さ**

平成二十一年度の全国学力・学習調査では、本県小中学生の「読書好き、早寝早起き、」などは全国平均を上回っていますが、『学校の規則を守る』『友達との約束を守る』と回答した児童生徒は全国平均を下回っています。本県の未来を担う子どもたちに、豊かな心と確かな学力、健やかな体を育てる教育を推進することが重要です。

また、倫理観、望ましい勤労観・職業観、社会貢献度、郷土への誇りと愛着をはぐくむ教育に取り組むことが必要です。(県総合計画参照)

子どもの学力について、読解力や応用力の低下が問題視されていますが、世界の学力動向としては、「①教科横断的な力量、②自己理解力や学習意欲など生涯発達につながる力」の二つが重視されています。

つまり、学力とは『自分の人生をつくり、社会に参加する力』であると考えられています。



**豊かな授業の実践と
二十五人学級の実現**

小学校段階で、しっかりと『基礎学力』を身につけた上で、学年の上昇と共に、『学ぶ力、考える力』を育てるために、子ども達の成長と発達状況、地域の課題や環境・実情に応じた、多様な教育実践が展開されることが望ましいと考えています。私は、学力向上の施策として、次の二点の実現を図っていきます。

①、教師の指導力の向上と充実を図ります。特に、教育現場の授業研究や生活指導の実践が、広く父母・地域に開かれ、参加した方々の意見をたいせつにし、授業や生活指導に生かすことができるような「教育指導行政」を整備していきます。

②、ドイツ、フランス等のEU各国など、欧米の各国では、二十名〜二十五名のクラスサイズが当たり前となり、少人数学級の実現をめざすことが、世界の流れとなっています。二十五人学級の実現をめざすことにより、少人数教育を推進し、子ども達一人ひとりに行き届いた教育ができる施策を進めていきます。

教育に関する重点目標

- ・基礎・基本的学力の向上をめざし、少人数教育を推進します。(25人学級の実現)
- ・学校・家庭・地域社会が連携した教育体制を確立します。
- ・生徒指導の向上を図り、いじめ・不登校・非行等の対策と指導の充実を努めます。
- ・生涯学習の推進に努め、公民館・図書館・学校開放等の施設の整備や内容の充実を図ります。
- ・障害児や健常児が共に育つ、行き届いた教育を実現します。
- ・子ども・保護者・市民から信頼される質の高い教職員の育成に努めます。

